

電 波 時 計

(掛 時 計)

～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信して正しい時刻に自動修正
- 暗くなると止まる秒針

商品により、陶磁器やガラスを使用しています。

製品を落とすなど衝撃を与えると破損するおそれがありますので、お取り扱いには注意してください。

製 造
発 売 元

リズム時計工業株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12

<http://www.rhythm.co.jp>

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたらお客様相談室にお問い合わせください。

お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してあります製品番号(型番)をお伝えください。

例 8MY○○○

お問い合わせ先

お客様相談室

(フリーダイヤル)
0120-557-005

受付時間 9:00～17:00 (土日、祝日および当社休日を除く)

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。

本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますので、ご了承ください。

もくじ

1. 安全にお使いいただくために、はじめにお読みください	3
2. 電池のご注意（電池の正しい使いかた）	4
3. 電池・時計の廃棄	4
4. お手入れについて	4
5. 電波時計について	5
・電波時計とは	5
・標準電波とは	5
・標準電波の送信停止について	5
・海外でのご使用について	5
・電波の受信範囲について	5
・電波を受信しにくい環境	5
6. ご使用方法	6
7. 時計の掛けかた	7
8. 標準電波—受信の流れとサーチ機能	8
9. 標準電波を受信できない場合	9
（手動での時刻合わせ…電波を受信できないときや任意の時刻に合わせるとき）	
10. 電波受信機能の ON/OFF 操作	10
11. 電池の交換時期お知らせ機能	11
△ 注意 電池の交換	
12. 明暗センサーのはたらき（暗になると止まる秒針）	11
おもな製品仕様	12
アフターサービスについて	12

付属品

単3形アルカリ乾電池	2個	木ねじ	1個
取付金具	1個	くぎ	4本
取扱説明書	本書	保証書	1枚

1. 安全にお使いいただくために、はじめにお読みください

ここに示した事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明

- ⊘ 禁止（してはいけないこと）を示しています。
- ❗ 指示する行為を必ず行うことを示しています。

 **警告** 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

 **注意** 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

 **必ず守る** 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

 **禁止** 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

- 電池に傷をつけたり、分解したりしない。
- 電池を充電しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を加熱したり、火の中に入れてたりしない。

 **禁止** 電池から漏れた液に素手でふれない

- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- 漏れた液に直接触れないでください。電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

 **浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない**
さびの発生や故障の原因になります。

 **分解したり改造しない**
けがや故障の原因になります。
分解禁止

 **強い振動や衝撃を与えない**
故障や破損の原因になります。
必ず守る

 **下記のような場所では使わない**
品質や精度の低下、部材の変形、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 温風ヒーターなど乾燥した風が当たる所。
- 温度が+50℃以上の所。
- 温度が-10℃以下の所。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

2. 電池のご注意（電池の正しい使いかた）

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス（+）、マイナス（-）を間違えない。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 電池を新しくするときは、全部取り替える。
- 幼児の手が届かない所に置く。

電池の種類について

- 本製品は 電池の特性に合わせて設計されています。指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。
- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

電池の寿命について

- 付属の電池は、工場を出荷するときに入れていただきますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

3. 電池・時計の廃棄

- お住まいの地区自治体の指定に従ってください。
- 廃棄するときは電池と時計を分別してください。

4. お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

5. 電波時計について

電波時計とは

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは

標準電波 (JJY) は、日本標準時 (JST) をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ 10 万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jy.nict.go.jp)

標準電波の送信停止について

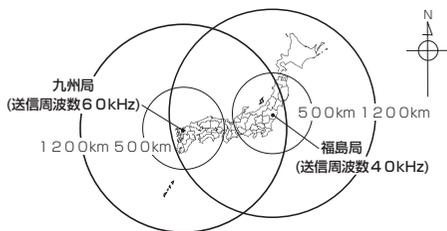
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については情報通信研究機構のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でご使用になるときは、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてお使いください。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

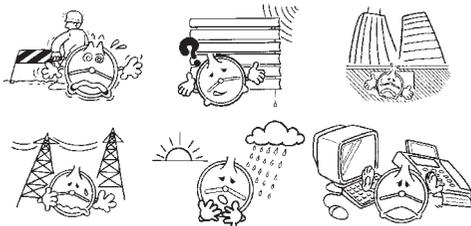


この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

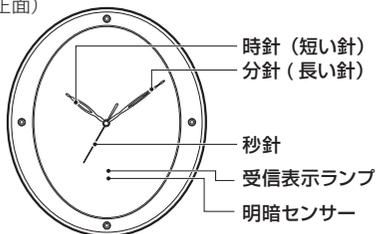
- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの地下、ビルの谷間、ビルの中など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く



6. ご使用方法

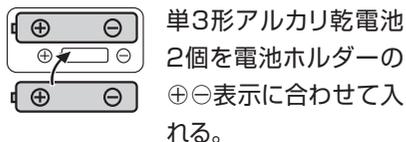
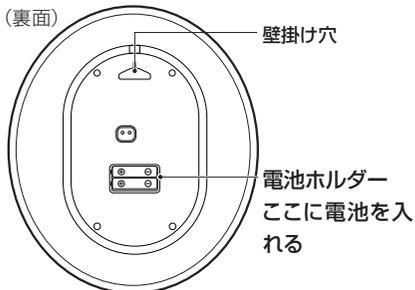
図は操作説明用ですので、実際のものとは異なることがあります。

(正面)



受信表示ランプと明暗センサーの位置が商品により異なることがあります。

(裏面)



〈裏面操作部〉



時刻合わせボタン

手動で時刻を合わせるときに使用します。
不用意に押すと時刻が変わります。

針の動き……通常の時刻表示

時針・分針 : 10秒に1回動きます。

秒針 : 連続して動きます。

※自動受信により、時刻を修正するときは早送り
で移動したり、停止することがあります。

※秒針は、時刻を修正するときに早送りしません。

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合
わせる場合は、**手動での時刻合わせ** (P.9)
を参照してください。

◎窓際など電波の受信しやすいところでお使
いください。

① 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて 電池を入れる

電池の⊕⊖を逆に入れると、電池の液漏
れ・発熱・破裂の原因となります。

② 強制受信ボタンを押す

受信表示ランプが点灯し、受信を開始しま
す。針は早送りで、4時、8時、12時の
いずれかの時刻に移動して**受信が終わる
まで停止**します。

8. 標準電波—受信の流れとサーチ機能

 (P.8) 参照

※電池を入れた後は、必ず強制受信ボタン
を押してください。

※早送りの途中で針が一時停止することがあ
ります。

※受信中はボタン操作をしないでください。

③ 時計を確実に掛ける

7. 時計の掛けかた

 (P.7) 参照

④ 16分待つて受信結果を確認する

受信表示ランプで確認してください。

受信成功 : 2秒に1回点灯

受信失敗 : 消灯

受信に失敗したとき

8. 標準電波—受信の流れとサーチ機能

 (P.8) 参照

または 9. 標準電波を受信できない場合 (P.9) 参照

◎静電気により、誤作動することがあります。
このようなときには、強制受信ボタンを押
してください。

7. 時計の掛けかた



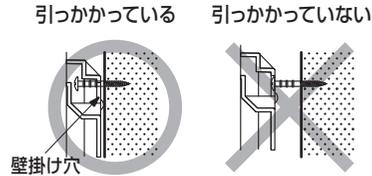
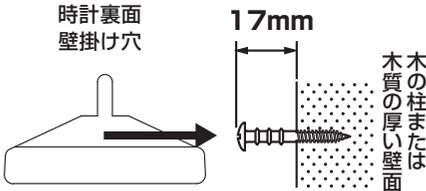
注意

掛けかたが不適切な場合、落下する危険があります。

- 掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け穴に掛け具(木ねじ)がしっかり掛かっていることを確認してください。
- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。

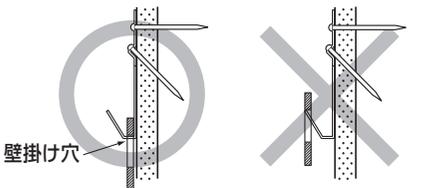
木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



取り付け方法 取付金具 タイプ A

金具を水平にして①②の順序でクギを押し込む。



引っかかっている

引っかかっていない

取付金具 タイプ B



石こうボードの壁面

石こうボードの壁面の場合

- 付属の取付金具を使用できる場所は、石こうボードの壁面です。

- 壁の材質、取り付け方法を確認の上ご使用ください。
- 付属する取付金具のタイプに応じた取り付けをしてください。
- 取付金具は水平に取り付けてください。傾けて取り付けると時計が傾きます。
- クギは取付金具の穴に対して、垂直に押し込んでください。
- 取付金具には、3.5kg以上のものは掛けないでください。

その他の壁面の場合

- コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

8. 標準電波—受信の流れとサーチ機能

② 強制受信ボタンを押す



4:00、8:00、12:00のいずれかで停止します。

電波サーチ

③ 受信局を表示



④ 電波の状態を表示

点灯 消灯
● ○
良好 受信できない

⑤ 受信開始から最長16分後



正しい時刻を表示



不正確な時刻

電波サーチ機能は、受信表示ランプの点灯または消灯により、時計がある場所の電波状態をお知らせします。

サーチ機能を使用するときの手順

- ① 窓際やベランダなど電波の受信しやすいところに時計を移動します。
- ② 強制受信ボタンを押します。
受信表示ランプが約3秒点灯後に受信を開始。針は早送りで4:00、8:00、12:00のいずれかの時刻に移動して停止します。
- ③ 受信局を表示後、受信表示ランプが点灯したら、設置したい場所に時計を移動します。
- ④ 電波の状態を確認します。

点灯：電波良好→受信できる可能性大

消灯：受信できない→場所を移動する

- 点灯と消灯が繰り返されるときは電波が弱いいため、受信に失敗する可能性があります。
- 電波サーチ中に、時計の向きや位置を変えると受信表示ランプの状態が変化します。

- ⑤ 受信結果を表示します。

受信成功：2秒に1回点滅

受信失敗：消灯

9. 標準電波を受信できない場合 (P.9)へ

※受信に失敗した場合、表示されている時刻は正しくありません。

※受信に成功しても時刻が正しくないときは、ノイズが原因と考えられますので、設置場所を変えて強制受信ボタンを押してください。

※受信表示ランプは、24～25時間以内の受信結果を表示します。

9. 標準電波を受信できない場合

●朝までそのままにしておく

一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える／受信をやり直す

電波の受信しやすい窓ぎわや取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に、なるべく向くようにして、強制受信ボタンを押して再度受信を行ってください。

●時刻を合わせ使用する

ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。

電波が受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

受信できない場合は、下記の操作で時刻を合わせるによりご使用になれます。

手動での時刻合わせ…電波を受信できないときや任意の時刻に合わせるとき

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。

※時刻合わせボタンを押していないのに、針が早送りで動いているときは、通常の針の動きになってから操作してください。

※電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

☞ **10. 電波受信機能のON/OFF操作** (P. 10) 参照。

時刻合わせボタンを押すと、時針・分針が動き始めます。

- 時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進みます。
- 時刻合わせボタンを押し続けると早送りで動きます。
- 時刻合わせボタンを押すと秒針は停止します。

秒針の動きについて

時刻合わせボタンを離れたときにゼロ秒に設定されます。

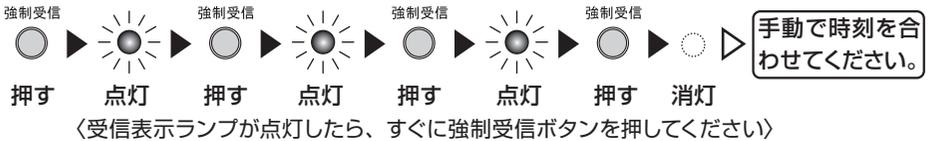
秒針は、秒針が指している時刻になるまで、最長で61秒程度停止しています。

10. 電波受信機能のON/OFF操作

誤受信しやすい所で使用する場合や意図的に時間をずらしてお使いになるときには、電波を受信しないようにすることができます。この場合、時間精度はクォーツ精度になります。

■電波受信機能をOFFにするには（停止するには）

図のように強制受信ボタンを4回押します。ボタンを押すタイミングによっては、OFFに切り替わらないことがあります。このようなときには、操作を繰り返してください。



※電波受信機能がOFFのときに強制受信ボタンを押すと、受信表示ランプは消灯したままで、針が早送りで動いたり、止まったりしてから時刻を表示します。

■電波受信機能をONにするには（開始するには）

工場出荷時の設定は、電波受信機能がONになっています。

時刻合わせボタンを押したまま、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後、必ず強制受信ボタンを押して受信を開始させてください。



ご注意

※この説明文の中で「押す」は、「押して、すぐ離す」ことです。

※電池を取り出しても設定を長い時間保持していますので、電波受信機能をOFFからONにするには、必ず上記の操作をしてください。

11. 電池の交換時期お知らせ機能

電池の交換時期になると、明るいところでも秒針が12時位置に停止したままになり、電波の受信をしなくなります。明るい所で秒針が12時位置に停止したら速やかに新品の電池にすべて交換してください。

※電池の交換時期をお知らせしてから1ヵ月程度は時計と分針は動き続けます。

※強制受信ボタンを押して受信しているときは、明るい所でも秒針が12時位置に停止します。

※電池残量が少ない状態で、使い続けると正常に機能しなくなります。



注意

電池の交換 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

電池からの液漏れにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために次のことをお守りください。

- 時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 時計が動いていても2年に1回定期的に交換する。
- 古い電池と新しい電池、マンガン乾電池とアルカリ乾電池を混ぜて使用しない。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。

※電池を交換した後は、必ず強制受信ボタンを押してください。



12. 明暗センサーのはたらき (暗くなると止まる秒針)

明暗センサーが暗いと判別した場合は、受信表示ランプが消灯して、秒針を12時位置で停止します。昼間や夜間の照明時でも明るさが不足するとセンサーが働きます。

おもな製品仕様

時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度 秒針 ±1秒 時針/分針 目盛りに対して±3度 標準電波を受信しないとき 平均月差±20秒 (温度が5～35℃のときのクォーツ精度)
使用温度範囲	-10～50℃ *結露しないこと
使用電池	単3形アルカリ乾電池 1.5V JIS規格 LR6 2個
電池寿命	約2年 電波の受信に成功して、1日当たり7時間暗所にて秒針が停止したとき
標準電波	標準電波を受信して時刻を修正
受信局	福島局/九州局 自動選択
受信回数	最少 1回/日、最多 6回/日 *受信状態により変化
受信開始時刻	2時、3時、4時、12時、13時、14時 各時間帯の16分20秒 *2時16分20秒は、必ず行う
受信機能	ボタン操作でON/OFF切り替え
サーチ機能	受信局、電波の強弱表示
手動時刻合わせ	ボタン操作
暗所秒針停止	明暗センサーと連動して、暗くなると秒針が12時位置に停止
電池の交換時期	交換時期になると秒針が常時12時位置に停止
お知らせ機能	

●製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無償保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有償での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより、修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

M334-EXXZ
(Y1305)